

## 議事録(要旨)

会議名: 令和7年度 第3回 角田市地域公共交通活性化協議会

日時: 令和8年1月23日(金) 午後2時から午後4時まで

会場: 角田市役所 301 会議室

出席: 委員 20 名中 17 名出席

欠席: 2 名(欠席連絡あり)

会議成立: 規約第8条第2項により会議成立

備考: 本議事録は会議内容の要旨である。

議題:

報告事項

協議事項: 角田市地域公共交通計画(素案)

その他

### 1. 開会

事務局は、委員の出席が過半数(17名)であることを確認し、会議が成立した旨を報告した。会長より挨拶があり、地域公共交通の重要性、人口減少・高齢化を踏まえた移動手段確保の必要性、本協議会で公共交通計画(素案)を実効性あるものに高めたい旨が述べられた。

### 2. 報告事項

#### (1) 前回協議会内容の訂正(住民アンケート分析)

説明者より、前回の住民アンケート結果説明における病院所在地の口頭説明について、「市外病院として分析」と説明したが、正しくは「市内病院」である旨の訂正があった。なお、資料集計は市内病院として実施しており、資料自体の修正は不要である旨が説明された。

#### (2) 参考資料「ラビットくん情報データから見た課題」

説明者より、令和6年度の「ラビットくん」利用状況の説明があった。主な内容は以下のとおり。

アクティブ利用者数: 550 人

利用件数: 16,135 件(平日換算で1日70件弱)

乗降地点の傾向: 早い時間帯は個人宅・病院/薬局、後半は商業施設の比重が増加

1日あたり利用回数: 1回利用36%、2回利用(往復想定)約60%

コメント: 1 回利用が 3 分の 1 超である点、往復の実態(同一施設往復か周遊か)の深掘りの必要性

### (3) 補足報告(通勤における阿武隈急行利用)

事務局より、市役所職員の阿武隈急行線利用割合が 6.01%である旨の報告があった(駅 500m 以内事業所の利用率 4.7%と同程度の傾向)。

## 3. 協議事項

### (1) 角田市地域公共交通計画(素案)について

事務局より、角田市地域公共交通計画(素案)の説明があった。主な説明事項は以下のとおり。

計画期間: 令和 8 年度～令和 13 年度(6 年間)

対象: 鉄道、デマンド交通(ラビットくん)、循環線、スクールバス等の輸送資源を含む議論の前提

路線や便の維持を目的とせず、市民等の必要な移動(通勤通学/通院/買い物)を守ること  
阿武隈急行線を南北軸とし、角田駅等をハブとしたネットワークとして判断すること  
実証運行→評価→改善→本運用の段階的な進め方を前提とすること

課題設定

課題 A: 阿武隈急行線の利用拡大

課題 B: 角田駅を起点とする二次交通の確保・充実(ネットワーク一体性)

基本理念・基本方針(4 本)

施策(7 施策)

阿武隈急行線の利用拡大(沿線連携)

交通結節点(ハブ)整備(角田駅、道の駅かくだ等)

デマンド型乗合タクシー「ラビットくん」運行サービス見直し

まちなか循環線の整備(休日の市内移動の補完、実証→本運用)

輸送資源の活用と地区連携(スクールバス等の活用検討、地区送迎との役割分担)

運行情報等の周知(紙・Web、時刻表、マップ、検索連携等)

市民・事業者・行政連携による利用促進(WS、乗り方教室、企業向け等)

優先的に取り組む施策: 施策 3・4(令和 9 年度の実証運行を目指す)

評価指標: 毎年モニタリングし PDCA で改善を行う。目標値は検討中で、承認後に設定しパブリックコメント案に掲載予定。

### ア. 主な質疑・意見(要旨)

計画中の「運転手不足」「燃料費等高騰」の記載根拠について質問があり、事務局は事業

者ヒアリングや全国的傾向を踏まえた認識である旨を説明した。

課題→方針→施策のつながりが資料上分かりにくいとの意見があり、事務局は構成・表現の改善を検討する旨を述べた。

あり方検討会提言と阿武隈急行線地域公共交通計画の関係について、誤解のない記載への修正を求める意見があり、事務局は修正する旨を述べた。

角田駅年間乗降客数等の目標値について根拠確認があり、事務局は関連計画等も踏まえ再検討し最終案で示す旨を述べた。

「ラビットくん」の利用データは、まちなか便と地域便の混在により読み取りに注意が必要との意見があり、便種別等を踏まえた再分析を検討する旨が示された。

スクールバス等の活用について、児童生徒の安全・心理面、福祉輸送との関係等に配慮し慎重に検討すべきとの意見があった。

まちなか循環線は無償実証と有償本運用で利用が変わり得ること、制度整理(白ナンバー/青ナンバー、貸切/乗合等)が必要であるとの意見があった。

国勢調査等の新しい人口データを踏まえ、需要見込みの更新を検討すべきとの意見があった。

欠席委員からの事前意見として、計画内の表現(計画の位置づけ、課題Bの表現、断定表現の緩和、道の駅かくだの記載、市民の役割、周遊性の表現)を見直すべき旨が紹介された。

#### イ. 協議結果

本素案は方向性について概ね了承された。

ただし、上記意見を踏まえ、事務局において文言・構成・指標(目標値)等を修正の上、計画案として取りまとめることとした。

なお、最終案は第4回協議会において承認を予定している。

#### 4. その他

##### (1) 今後のスケジュール

事務局より、計画策定までのスケジュールについて説明があった。

2月初旬～2月末: パブリックコメント実施

3月上旬～中旬: パブリックコメント回答・修正

3月26日(木): 市議会 全員協議会で説明

3月30日(月): 第4回協議会(最終案承認)

3月末: 策定(3月31日を目標)

##### (2) 阿武隈急行 ダイヤ改正案内

関係者より、3月14日(土)改正の概要(早朝増発、JR乗換改善、直通列車増等)が説明さ

れた。

### (3) 交通空白に関する意見

事業者から、交通空白の捉え方(夜間等の未対応時間帯、待機時間等)やタクシーの公共交通上の位置づけ等について意見があった。事務局からは、現状ラビットくんが全域運行していることから「交通空白はない」と回答した旨の説明があった。今後、タクシー事業者とも協議し理解を深める旨が述べられた。

## 5. 閉会

以上をもって議事を終了し、閉会した。